



自主 協力 明朗 西中だより

令和8年
2月2日発行



臥龍梅ふれあい奉仕活動に参加しました！

1月22日(木)、本校1年生が地域の皆さんとともに、国指定天然記念物「臥龍梅」の清掃活動に参加しました。地域の宝である臥龍梅を守り、次の世代へつないでいく大切な取り組みとして、毎年1年生が臥龍梅保存会の皆さんから手ほどきを受けながら作業を行っています。今年度も余田小学校の児童と一緒にバスに乗り、現地へ向かいました。

到着後、保存会の皆さんから臥龍梅の歴史や作業の要点を教えていただき、生徒は剪定・除草・落ち葉拾いなど、いくつかの場所に分かれて活動を開始しました。斜面を登ったり降りたりしながらの作業は決して楽ではありませんでしたが、地域の方に声をかけてもらい、友達と力を合わせることで集中して取り組む姿が見られました。

作業が進むにつれ、周囲の景観はみるみるきれいになり、生徒自身も「きれいになってきた」「もっとやりたい」と達成感を口にしていました。地域の文化財を自分たちの手で守るという経験は、教室では得られない学びであり、地域の一員としての自覚を育む貴重な時間となりました。

臥龍梅はこれから見頃を迎えます。生徒が整えた足元や周辺の景観が、訪れる方々にとって心地よい空間となることでしょう。次に1年生が臥龍梅を訪れるのは2月。梅の香りに包まれながらの吟行が、今回の奉仕活動とつながり、より深い学びとなることを期待しています。



全員で打合せをしてスタート



地域の方に剪定の仕方を教わりました



上手に剪定できるかな？



協力して草を集めました



落ち葉もたくさん落ちていました



熊手で一生懸命集めています



一輪車が大活躍でした



保存会のみなさんにお礼の言葉



保存会から温かいココアをいただきました

立志の会を開催しました！

1月30日(金)、2年生が「立志の会」を行いました。十四歳を迎えるこの時期に、自分の成長を振り返り、これからの生き方や目標を見つめ直す大切な節目の行事です。当日は保護者の皆様に加え、来年度の立志の会に向けて心構えをつくるために1年生も参観し、温かな雰囲気の中で会が進みました。

立志の誓いでは、生徒一人ひとりが前に進み出て、自分の言葉で決意を述べました。将来の夢に向かう思い、努力を続けたいという覚悟、家族や仲間への感謝など、どの言葉にもその生徒らしさが込められており、聞く側にも静かな感動が広がりました。緊張しながらも堂々と語る姿には、これまでの成長と、3年生へ向かう確かな歩みが感じられました。

会の終了後には、立志の会を参観された学校運営協議会長様よりお話をいただきました。「どのような進路を選ぶとしても、周囲からの信頼を得ることが何より大切である」という言葉は、生徒たちの胸に深く響いたようでした。信頼は日々の行動の積み重ねによって築かれること、その積み重ねが将来の自分を支える力になることを、生徒たちは真剣な表情で受け止めていました。

今回の立志の会での誓いを大切にしながら、2年生がこれからの学校生活をよりよいものにしていくことを期待しています。



落ちない「橙」をいただきました！

受験を控えた3年生に、地域の方から縁起物としてたくさんの橙をいただきました。橙は冬になっても木から落ちにくいことから、「実が落ちない → 試験に落ちない」という願いを込めて贈られる果実として親しまれています。また「代々(だいだい)続く」という語呂から、努力が実を結び、良い結果につながるようにとの思いも込められています。

3年生は「応援してもらえてうれしい」「がんばろうという気持ちになる」と笑顔で受け取り、地域の温かい励ましを力に変えていました。心のこもった贈り物が、生徒たちの背中をそっと押ししてくれる時間となりました。



柳井西中学校ホームページを是非、ご覧ください！
生徒の様子や学校の取組など、毎日情報を更新しています！
お時間のあるときに是非ご覧ください！

